

髪のパサつき(毛髪ダメージ)対策のポイント「皮脂で髪の毛を保護する」

髪のパサつき(毛髪ダメージ)対策のポイントは、頭皮自ら分泌する皮脂で髪の毛を覆うこと。森海混は、従来の一時的になめらかさやうるおいを与えるトリートメントやオイルとは違い、皮脂で髪の毛が覆われやすい毛髪環境を作るといふ、これまでにない全く新しい発想でパサつきを繰り返さない髪の毛を目指します。

髪の毛のなめらかさやツヤ、うるおいなどは、頭皮から分泌される皮脂(膜)が毛髪を覆うことで保たれます。皮脂が毛先まで充分に行き渡っている髪の毛では、毛髪表面が弱酸性の薄い膜で覆われ、キューティクルが閉じています。キューティクルは、毛髪内部の水分やたんぱく質の流出を防ぐバリアとしての働きがあります。この皮脂が不足すると、毛髪がアルカリに傾き、キューティクルが開きます。毛髪内部の水分やたんぱく質が失われ、パサつきなどの毛髪トラブルが起こります。皮脂は、シャンプーに配合の合成界面活性剤によって容易に流出しますが、通常皮脂が流出しても、しばらくすると頭皮自らの力で皮脂を分泌して髪の毛を覆うため、短期間の使用であれば、パサつきなどの毛髪トラブルは起こらないようになっています。

しかし、頻りにシャンプーをして(ほとんどの方が毎日シャンプーしている)皮脂を取っては分泌するを繰り返すと、徐々に皮脂を分泌する力が弱まり、毛先の方からからパサつきはじめます。この状態でさらにシャンプーを使い続けると、やがて皮脂を分泌する力が疲弊し、皮脂が慢性的に不足して髪の毛全体がパサつくようになります。

●従来のケア「一時的になめらかさやうるおいを保つ」

トリートメント・オイル・コンディショナーなどで、不足している水分・保湿剤・油分などを補給し髪の毛をコーティングします。使ったときは、なめらかさやツヤ、うるおいのある髪の毛になりますが、皮脂が不足しキューティクルは開いたままのため、その効果一時的で、しばらくすると毛髪の隙間から水分やたんぱく質が流出して再びパサつきが起こります。むしろ、シャンプーよりも脱脂力の強い合成界面活性剤(陽イオン界面活性剤)やアルコール、多量の油分が、皮脂を取ったり、皮脂分泌を妨げるため、継続使用は傷んだ髪の毛を更に傷めることとなりますが、多くの方がこのことに気付いていません。

●森海混「皮脂分泌をサポート。パサつきを繰り返さない髪の毛に」

リノール酸を含んだ水と油がなじんだ弱酸性の膜が、皮脂(膜)の代わりとなり、傷んだ髪の毛の表面を覆います。キューティクルを閉じ、過剰な水分やタンパク質の流出をおさえながら、なめらかさやツヤを与え、指通り・クシ通しを良くします。合成界面活性剤をはじめ添加物を一切使わず、しかも含有する油分量も微量のため、皮脂を取り過ぎたり、皮脂分泌を妨げたりする心配はありません。

また、頭皮にもしっかりスプレーし、壊れた頭皮バリア(皮脂膜・角質層)を修復します。バリアのある頭皮を取り戻すことで、頭皮自ら皮脂を毛先まで運び、キューティクルが開きすぎないように、毛髪を弱酸性の薄い膜で保護します。トリートメント・オイル・コンディショナーを使ったときのようなツヤツヤ感やしっとり感を得ることはできませんが、パサつきのない、指通り・クシ通しの良さが持続する自然な髪の毛の美しさにするのが特徴です。

なお、一度剥がれたキューティクルは修復不可能となります。パサつきのない髪の毛を維持するためには、今ある傷ついた髪の毛をケアしながら、これから育ってくる髪の毛を、健康で美しく育てるといふ発想が大切です。森海混を頭皮にしっかりスプレーしてください。森海混は、キューティクルが備わった傷みのない、本当の意味での健康で美しい髪の毛を育てるために必要な頭皮環境を整えます。

●パサつき(毛髪ダメージ)を悪化させないために気を付けること

ブラッシングをし過ぎない/洗い過ぎない/洗髪時頭皮をゴシゴシしない/シャンプーを減らす・お湯洗髪を取り入れる/トリートメント・オイル・コンディショナーを減らす/カラーリング・パーマを当てすぎない(間隔を空ける)/ドライヤーを当てすぎない/紫外線対策を行う/プールを控える